

株式会社 MARS、就労支援事業所 co opus 就労支援員兼  
デイケア就労支援担当、精神障がい者ピアサポート専門員

櫻田 なつみ

株式会社 MARS 代表取締役、精神保健福祉士

中田 健士

### ～(株)MARS のピアスタッフの取り組みの実例～

私たちが所属している株式会社 MARS は 2009 年に当事者スタッフ（以下「ピアスタッフ」）3 名、専門職スタッフ 2 名で設立された会社です。当初から医療法人社団宙麦会ひだクリニックのデイケアなどでピアサポート業務を行いながら、当事者中心で活躍できる業務を行ってきました。

設立から 3 年後に多機能型事業所マーレ（自立訓練（生活訓練）・就労継続支援 B 型）を立ち上げ、障害福祉サービスとしてピアスタッフがピアサポートを含めた支援員となり、業務が始まりました。その後、TERRA（就労継続支援 B 型）、マイム（外部サービス利用型共同生活援助）、コパス（就労移行支援・自立訓練（生活訓練）、そにあ（生活介護）と利用者さんの状況に合わせてながら事業を拡げていきました。そして、現在 10 年が経過し初期メンバーのピアスタッフは、管理者やサービス管理責任者、ジョブコーチなどの研修を受け就労支援専門スタッフとなるなど、さまざまな分野で活躍をしています。

このようにピアスタッフが自らの想いを発言し、自らの経験を基に利用者さんの支援を実践していくことで、さまざまな取り組みに発展をしてきた経緯があります。一例として、多機能型事業所マーレではピアスタッフが発想したプログラムから千葉県の担当者にピアの重要性を認識してもらい、千葉県障がい者ピアサポート専門員研修につながった事例があります。また、デイケアの就労支援では、ピアの経験に基づく発言がデイケアメンバーの就職支援においてピアスタッフと専門職が連携をすることで定着につながった事例、さらにピアスタッフと就労支援を受けているメンバーと一緒にリカバリーストーリーの講演会に参加することで、自信を取り戻し、就職につながった事例があります。これらの事例を通してどのような環境だったから上手くいったのか、そうでなかったのか、ご説明ができればと考えています。

そして櫻田の外部の業務として、松戸市虐待防止ネットワークや千葉県地方精神保健福祉審議会、厚生労働省成年後見制度利用促進委員会、厚生労働省精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会の当事者委員として活躍しています。外部の環境で当事者として発信しやすい環境や配慮はどういったものなののかも含め、「私がいいたいことを言える」場面を増やすことによって、様々な可能性が広がることを、実体験を通して発表をさせていただきます。